



JAL不当解雇撤回ニュース

No485 号 2016.03.15
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>

2月29日、東と西で統一行動！ 東京は本社包囲行動、関西は要請と宣伝行動

2月29日、東京では本社包囲大行動、大阪ではこの「大行動」に呼応して、大阪支援共闘と兵庫連絡会が合同して「大阪行動」が行われました。春闘も真最中と多忙な中、東京と関西で、争議の早期解決を求めて行動しました。

東京では、 本社包囲大行動に 600名が参加

夕刻から寒風吹きすさぶ天王洲の本社に600名を超える支援者が詰めかけました。国民支援共闘の呼びかけで、JALが解決のための話し合いを誠実にやり、解雇問題の早期集結を求めた「本社包囲大行動」です。松平さんのトランペット演奏で始まった集会は、支援者と原告の連帯感あふれるものでした。



～開会の挨拶と連帯の挨拶～

共同代表の糸谷全国港湾委員長は、開会の挨拶で「安全のために、強制解雇した165人と日東整のベテラン整備士を職場に戻すよう全国の仲間とお願いしたい。今なお解雇の傷跡が現場に心の傷となっている。全社一丸となるためには、解雇を撤回すること。ILO勧告に従って復職を成し遂げられるよう頑張りましょう」と述べました。

また、連帯の挨拶として、品川労協の柴山事務局長は、「人員不足は深刻で人材育成が進まないと聞く。長い経験で蓄積した目に見えない技術を伝えることがベテランの役割。被解雇者に戻すことが再生に繋がる」と述べ、JAL中部共闘青柳議長は、「去年は労働者派遣法が改悪され、今年は労働基準法改悪、解雇の金銭解決で労働組合が日本からなくなる。JALの争議を闘う中で、政府や財界の悪辣な攻撃を跳ね返していく」と表明されました。

共同代表の金澤全労協議長、上記の糸谷氏、柴山氏、青柳氏、そして田二見乗員委員長、野中CCU書記長、不当解雇撤回争議団の清田・飯田両事務局長の8名がJALに要請を行いました。

～職場からの訴え～

職場の仲間と共に参加したCCU前田副委員長と乗員組合田二見委員長は、「今、経営にとって最も重要なことは、ILO勧告に基づき意義のある交渉を行い、争議を全面解決し、職場の人員不足への対処や職場環境の改善である。職場は精一杯頑張って安全運航を支えている。仲間を職場に戻し、争議を解決するまで、全国の支援者の皆さんと共に全力で闘う」と述べました。

～両団長からの決意表明～

内田客乗団長は、「CCUはこれまで全CAを代表し、働く女性たちと共に、時の政権や財界と真っ向対立しながら要求実現のために闘ってきた。私たちは職場との団結と信頼、そして支援者との連帯があったから頑張ってきた。一日も早い職場復帰のため全力で闘う」、山口乗員団長からは、「連続したエンジントラブルはもはや危機的。職場に採算意識を植え付ける部門別採算制の稲盛式経営が破たんしかけている。高収益体制で安全が脅かされることは歴史が証明している」と、争議解決への強い決意を表明しました。

大阪では、 3カ所の要請行動と 利用者への宣伝行動

大阪支援共闘は兵庫連絡会、航空連、原告と共に、JAL大阪空港支店、航空局、厚生労働省大阪労働局への要請行動を行いました。

それに先立ち、兵庫連絡会は独自で神戸三宮の空港行きバス乗り場で、航空機利用者向けにビラを配布し宣伝行動を行いました。



大阪支援共闘、兵庫連絡会、航空連、原告の皆さん

JAL大阪空港支店要請

15名中6名が入室を許され、空港ビルの一室で30分間要請を行いました。JALの2名の社員が対応。原告からは、最近のインシデントや事故に危機感を持っていること、2005年の事業改善命令時よりも今の状況の方がより危機的であることを伝え、早期解決を申し入れました。また、ILO第3次勧告について詳細を説明しました。

航空局大阪空港事務所交渉

竹口総務部長が対応。全員が部屋に案内され、40分間に渡り話し合いが行われました。解雇問題の早期解決とJALの安全を求める私たちの声に耳を傾け、必ず本省に伝えてくれるとのことでした。



【上下写真】代表して要請書を渡す大阪支援共闘の遠近さん

厚生労働省大阪労働局交渉

3名が対応し50分間の話し合いが持たれました。ILO勧告に従い、話し合いの場を持つようJALに指導することを強くお願いしました。こちら側の訴えについて、必ず本省に伝えるとのことでした。



兵庫連絡会が 神戸三宮の空港行き バス乗り場で宣伝行動

初めての宣伝場所でしたが、列を作ってバスの到着を待つ人々が注目してくれました。1時間で5本のバスが出発し、14名で300枚のビラを配布できました。

